

No.1613

第1614 回例会

2014年2月21日(金) 12:30～13:30
点鐘

ロータリーソング “それこそロータリー”

会食(和食)

会長会務

*ビジター・ゲスト紹介。

第1グループガバナー補佐 田邊賢二さん
米山奨学生 岳 軻さん

*木の話(29)。

北海道銘木としてトド
マツと並び賞される
マツ科・トウヒ属の
エゾマツについて、
お話しします。



幹事報告

*第1・第2グループ合同IMのご案内。

日時 2014年4月26日(土)
12:30 受付 13:00～18:30

会場 米子コンベンションセンター
米子全日空ホテル

登録料 7,000円

締切り 3月10日(月)
チラシを配布いたします。

田邊ガバナー補佐ご挨拶

委員会報告

*親睦活動・出席委員会

出席率・スマイル報告

*その他

卓話「飲食よろず話」

会員 宮本孟尚さん

先週(第1613 回例会)の記録

2014年2月14日(金) 12:30～13:30
会長会務

*木の話(28) 北海道旅行で必ずバスガイドさんが教えてくれる木は、トドマツ・エゾマツです。

今日はまず、マツ科・モミ属のトドマツについてお話しします。

トドマツは基準のものがアカトドマツとし、木肌や球果の変わったものをアオトドマツと区別します。北海道、南千島、樺太に分布しますが、北海道ではアカトドマツが東部に、アオトドマツは西部に多く分布します。しかし、実用上区別されることは殆どありません。

トドマツはモミ属ですので、枝は幹に対して直角に出ますので、下に垂れるエゾマツと区別できるとバスガイドさんが説明したのを覚えています。

樹高は25m、胸高直径50cmに達する常緑高木でその姿は雄大です。樹皮は灰白色、葉は線形で長さ3cm、幅1.5cmで枝に密生します。花は6月上旬に開花、雌雄同株です。

球果は円柱形で長さ7cm、幅3cm濃褐色で勇ましく直立します。

北海道の主用林木でその蓄積は極めて多いと聞きます。材質は心材まで材の色が白色で美しく、やや軽軟で良材が多く、建築、器具・土木・パルプなど広く重宝される北海道の宝です。

幹事報告

*赤木三郎さんの告別式には、多くの会員の皆様にご会葬いただき、また受付等大変お世話になりました。ありがとうございました。

*ガバナー事務所より、

2013～2014年度の各種賞・表彰についてのお知らせ。

*ガバナー・エレクト事務所よりPETSに際してのアンケート。

*3月7日東部5RC合同例会を欠席される方

は、例会変更を利用してメーキャップをお願いいたします。

***理事会報告**

- ①川越治郎会員の出席免除会員を承認。
- ②錫木卓朗会員退会に伴う会報委員会の副委員長に、木原一志会員を承認。
- ③次年度米山奨学生カウンセラーは山田正会員にお願いします。
米山奨学生は鳥取大学・情報エレクトロニクス専攻 中国の女性 楊 宜平 (ギヘイ) さんです。
- ④東部5RC合同例会はホストクラブなので、全員登録とします。
***事務局、2月25日(火)と2月26日(水)午前中お休みいたします。**

出席率

2月14日 会員53名 欠席12名 76.47%
1月31日 メーキャップ 1名 92.16%

ビジター

鳥取中央RC 1名

スマイル

- * 駒井重忠様 (鳥取中央) / 本日はよろしくお願ひします。
- * 西尾 茂会員 / 鳥取市中央図書館の西尾肇館長さん、卓話よろしくお願ひします。
- * 竹内 隆会員 / 赤木会員の葬式にご出席の皆様、ご苦労様でした。寂しくなりました。
- * 米本哲人会員 / 浜本さん、水石の館の竣工式おめでとございます。NCNニュースで西尾会長が熱心に見ておられたのが印象的でした。
- * 瀧田賀久也会員 / 西尾様、卓話楽しみにしています。
- * 森下哲也会員 / 伊勢参り (外宮、内宮) をしてきました。だんだんと神頼みです。
- * 岡田信俊会員 / ①西尾肇館長さん、本日は卓話を楽しみにしています。②山下卓治さん、先日はありがとうございました。
- * 浜本真一会員 / ①誕生日。66歳になりました。まだがんばります。ありがとうございます。②新聞に出ていました。
- * 生馬美津雄会員 / 誕生日。午年、72歳になりました。
- * 中本 尚会員 / 誕生日。2月17日、70歳になります。
- * 岩ノ上洋一郎会員 / 誕生日。親に感謝です。
- * 金本勝彦会員 / 誕生日。50歳になりました。今後共よろしくお願ひいたします。
- * 山本文正・田中宏和・麻木宏栄会員 / 誕生日。
- * バッジ不携帯 1名
- * 早退4名 合計39,000円

**卓話「マンガに描かれた鳥取砂丘
～鉄腕アトムから谷口ジローまで～」**

鳥取市立中央図書館 館長 西尾 肇さん

私は、元々は漫画家志望でした。子供の時から、手塚さんや横山光輝さん等のマンガで育ちマンガが大好きでした。夢を諦めましたけれども、息子が京都でアニメーターとして仕事をしてくれており、私の夢を果たしてくれています。

数年前に「まんが王国鳥取」という事でマンガに携わる仕事が縁になり、「鳥取に縁のあるマンガ」をテーマにマンガを集めてみようと思いマンガの研究を始めています。関心を持ち研究を行っている、鳥取にゆかりのあるマンガは結構沢山あり、中でも「鳥取砂丘」を題材にしたマンガが多くある事が分かりました。

今日は、「鳥取砂丘」を題材にした話をさせていただきます。

今「マンガ聖地巡礼」が流行っていて、鳥取県では、岩美町がマンガの聖地になっており、観光客で賑わっています。全国の「マンガ聖地」を巡る動きは、経済効果約100億にも達すると言われる、地域活性化のためにもマンガは役に立っています。

私は、昭和28年生れですが、「鉄腕アトム」は昭和27年に雑誌「少年」に掲載が始まりましたが、手塚治さん(当時24歳)は前年の昭和26年に「アトム大使」を発表されており「鉄腕アトム」の前身になります。「アトム大使」は、宇宙人と地球軍が地球をめぐるって戦いアトムが仲裁に入るというストーリーですが、その中で、地球軍が基地を置いた所が「南極」でした。しかし、「鉄腕アトム」の人気が出てきたことで、「南極」が「鳥取砂丘」に書き換えられたというエピソードがあります。

谷口ジローさんは、鳥取市出身で鳥取商業高校卒業後、会社員を経て漫画家に転進された方です。鳥取砂丘を題材にした作品を3作書かれています。鳥取県には、東部の谷口ジロー、中部の青山剛昌、西部に水木しげるの3大著名人がいますが、青山剛昌さんは「ヤイバ」という作品で、水木しげるさんは昔の貸本時代に「鳥取砂丘」を題材にしたマンガを描かれています。

他にも武本サブローさんの「荒鬼(ARAKI)」、上村一夫さんの「同棲時代」、水島信司さんの「ドカベン」「機動戦士ガンダム」など「鳥取砂丘」を題材にしたマンガが多く描かれており、研究は尽きません。

研究を通じ鳥取県をPRしていけたらと思っています。本日は有難うございました。

次週例会予定

2014年2月28日(金) 第1615回例会
卓話「地区夢計画合同セミナーの報告」

次期会長 山下卓治さん
次期幹事 岡本安量さん